

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回南警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年3月1日（金） 午後1時30分から午後3時5分までの間 ----- 愛知県南警察署 講堂
出 席 者	1 委員 荒川 清 会長 伊藤 裕二 副会長 稲垣 敏明 委員 PHAN DINH QUYNH MY 委員 三和 晋 委員 石原 雅子 委員 今枝 和弘 委員 早坂 真帆 委員 <div style="text-align: right;">以上11名（定数12名）</div>
	2 警察署員 大熊署長 渡邊副署長 石黒警務課長 石田会計課長 長縄生活安全課長 小川地域課長 小林刑事課長 馬原交通課長 井上警備課長 <div style="text-align: right;">以上9名</div>
	3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	自転車盗被害の防止方策
答 申 等 の 概 要	1 自転車盗の被害防止に向けた情報発信 2 駐輪場管理者に対する防犯対策の推進 3 仕掛学タグを活用した啓発活動の促進
そ の 他	次回開催予定 令和6年6月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長及び副会長の選出
	委員の互選により、荒川清委員を会長に選出し、会長は、伊藤裕二委員を副会長に指名した。
2	会長・副会長挨拶
3	委員紹介
4	署長挨拶
5	管内情勢の報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況（地域課長説明）
	(1) 諮問事項
	地域警察官に望むこと
	(2) 答申事項
	ア 交番、地域警察官の増強に向けた働きかけ
	イ 警察官の姿を見せることによる安心、安全の確保
	ウ パトロールの強化
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	愛知県警察本部地域部地域総務課において、地域警察官の増強に向けた要望を行い、今後の地域警察活動に役立てることとした。
	イ 答申事項イについて
	○ 交番及びパトカーの活動
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
常時赤色灯の点灯による守りの活動と、犯罪検挙・交通取締りによる攻めの活動を推進している。	
○ 小学校児童の見守り活動	
小学校の登下校時間に合わせて、地域住民と連携した見守り活動を実施した。	
○ 立番活動	
犯罪の抑止、交通事故防止のために、交番前や主要交差点において立番活動を実施した。	
ウ 答申事項ウについて	
○ 管内にある公園において少年らのい集や犯罪行為等が多発したことから、同公園のパトロールを強化した。	
○ 交番、パトカーACE制度	
当署では、愛知県警察本部地域部から指定を受けた交番、パトカーACEの2名を中心に、管内のパトロールを強化している。	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗被害の防止方策	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
ア 過去10年の自転車盗被害認知件数の推移について	
イ 自転車盗被害の状況について	
ウ 当署が実施している自転車盗被害の防止方策について	
○ ワイヤ錠配布によるツーロックの促進	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
○ 自転車盗利用者に対する啓発活動	
○ 無施錠自転車に対する仕掛学を利用した防犯タグの取付け	
エ 当署管内において自転車盗被害が多発していることから、その防止方策について諮問する。	
8 協議	
委員	・ 管内で発生した自転車盗被害の大半が、無施錠であることが分かった。やはり自転車を離れるときには鍵をかけるべきである。 (4人の委員から同様の説明がなされた)
委員	・ ワイヤ錠等を活用したツーロックは有効であると考えてるので、引き続き広報啓発活動を行っていただきたい。(3人の委員から同様の説明がなされた)
委員	・ ツーロックの有効性を認識しながらも、面倒という人が少なからずいると思う。区民の意識を高めていく必要がある。
委員	・ ワイヤ錠の活用など、区民にとって自転車のツーロックはハードルが高いのかもしれない。
委員	・ 南区防犯協会をはじめ、地域による自転車盗被害防止キャンペーンでもツーロックの啓発が行われているが、住民に浸透しているかどうかは疑問である。
委員	・ 自転車盗被害抑止に限らず、南警察署員にはしっかりとパトロールしていただいているが、赤色灯の点灯による警戒活動をさらに強化していただけると防犯率は高まると考える。(2名の委員から同様の説明がなされた)
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 私が暮らしている学区内の駐輪場の状況を調査したところ、置かれていた自転車の約7パーセントが無施錠であった。
	また、駐輪場に置かれていた自転車の内、ツーロックされていたものは、約6パーセントであり、その他の大多数が馬蹄錠による施錠のみであった。
委員	・ 自転車をツーロックすることが浸透しないならば、区民に対しては、まずは馬蹄錠のみでも良いから自転車に鍵をかけるよう促すことから始めると良い。
委員	・ 無施錠の自転車が盗まれやすいということであるので、ターゲットを絞った広報啓発活動を推進すべきであると思う。
委員	・ 盗まれる自転車は前後に荷物かごが取り付けられたようなインチ数の低い高齢者向けのものではなく、万人受けしそうな比較的新しい軽快自転車が多い気がする。
委員	・ 盗まれる確率の高い自転車種別の検討に加えて、犯行の状況や盗んだ後の移動、処分状況を検証することができれば、被害防止につながるヒントとなる。
委員	・ 自転車を盗む人の心理を理解した上で対策を講じることが有効ではないか。
委員	・ 自転車を盗む者の心境を知りたい。
警察	・ 端的に説明すると、安易な気持ちで自転車を盗む者が多い。また、無施錠の自転車を簡単に盗んで乗り捨てることが多い。
	自転車盗で検挙される被疑者も様々で、最終電車・バスを乗り
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
逃した社会人、自分の自転車を盗まれたから盗み返したという者もいる。	
そして、自転車盗の被害が発生した場合、犯人が検挙される前に放置された状態で見つかることが多い。	
委員	・ 集合住宅等、自宅から盗まれた自転車が被害場所の周辺に乗り捨てられるということが多いのであれば、GPSタグ等追跡機能付きの自転車が普及する時代が来ることを望んでいる。（2人の委員から同様の説明がなされた）
委員	・ 南警察署には、パトロールを始め、自転車盗の被害防止に向けた啓発活動や情報発信を更に発展させてほしい。
委員	・ 自転車盗の被害防止には、放置自転車の対策も有効な手段であるとする。（3人の委員から同様の説明がなされた）
委員	・ 駐輪場等、自転車が置かれる可能性のある場所は、できる限りきれいな状態にしておく方が良いのではないかと。
委員	・ 私が勤務する職場で、駐輪場を管理しているが、放置自転車は南警察署員の協力を得て盗難品でないことを確認した上で、一定期間経過後に処分するなど、整然とした駐輪場を目指し、自転車が盗まれないような環境づくりに努めている。
委員	・ 自転車盗被害を防止するためには、自転車の持ち主がしっかりと鍵を掛けてから離れるなど意識を高めることが大切であるが、駐輪場自体の防犯機能を強化することも必要ではないかと。
委員	・ 駐輪場の管理者に対して、自転車が地面から離れないような防
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
<p>犯設備を整えるよう協力を求めるとよいのではないか。（3名の委員から同様の説明がなされた）</p>	
委員	<p>・ 共同住宅の駐輪場等で、自転車の置場自体の防犯機能を強化することができれば高い効果が得られる反面、設置費用面などの課題が生じる。</p>
委員	<p>・ 駐輪場自体の防犯対策として、カメラの設置台数を更に増やすとよいのではないか。</p>
委員	<p>・ ダミーの防犯カメラであっても、設置するだけで自転車盗被害を減らせると思う。</p>
委員	<p>・ 無施錠自転車に対する仕掛学を利用した防犯タグの取付けについて説明を受けたが、非常に良い取組であるので、南区内で積極的に推進されることを期待したい。（6人の委員から同様の説明がなされた）</p>
委員	<p>・ この防犯タグに、もう少し大きく明確に警察の表示がされていれば、我々地域住民や防犯関係団体としては取り付けやすいという意味で協力しやすい。</p>
9 答申	
(1) 自転車盗の被害防止に向けた情報発信	
(2) 駐輪場管理者に対する防犯対策の推進	
(3) 仕掛学タグを活用した啓発活動の促進	
10 その他	
<p>次回の開催予定は、令和6年6月ころとする。</p>	
記録者	警務係長